

電動ろくろを使って陶芸教室を 開催しました！

1日目の1月21日(土)につづいて2日目の2月18日(土)、この日に仕上げ(削り)の作業工程を行いました。

前回作った作品の裏を削って形を整えるのが今日の大きな目標です。

まず、ろくろの中央に裏向けた作品を置きます。作品がろくろ台の中央に収まらないといびつになると聞き、慎重にまたそおつと優しく設置。息が詰まる瞬間でもありました。中央に無事置き終わると一仕事終えた不思議な満足感が生まれてきたようでした。安堵の表情を浮かべておられるのを伺い知ることができました。

その後、粘土で軽く3カ所固定します。作品がずれないようにするためのものですが、ここでも慎重に慎重に。固定の粘土の量や位置などを確認しながら作業を進めました。

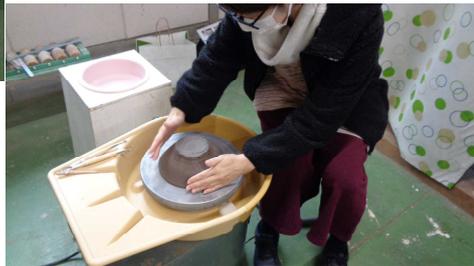
ろくろ台を回し、レコード盤で針が動くように腕を固定し決して刺さずに線を引きます。手で支え固定することがポイントと聞きわずかながら手が震えたものの、何回かこなしていくうちにスムーズに動き出しました。次に線を描いたところ以外をワイヤーベラで削ります。あまり大胆に削ると穴が開くので、ここは慎重に慎重に少しずつ削ります。緊張の連続で肩がこる作業でした。

仕上げに底の厚みとでこぼこしている部分をなくすために水を絞ったスポンジでなめらかにします。慎重に確実に焦らずに気をつけながらじっくりスポンジを当てていくとだんだん表面がつるつるになり、滑らかになってきました。完成です。この後、800度で素焼きをした後に、希望した色の釉薬をつけて1230度で本焼きをします。

完成が楽しみです。なお、完成した作品は、自然の家から作られた方に連絡をして後日引き取りに来ていただくことになっています。ご参加いただいた皆様は、きっと陶器ができあがるのを心待ちにされていることでしょう。お疲れ様でした。

所員一同、皆様のおいでを心待ちにしております。

午前の部の様子



午後の部の様子

